平成 28 年度第 1 回平塚市博物館協議会会議録

■開催日時　平成 28 年 5 月 20 日（金）10 時～11 時 30 分

■開催場所　平塚市博物館特別研究室

■会議出席者（敬称略）

会　長　石綿進一

副会長　椿田有希子

委　員　大野秀樹、澤井建二、平井　晃、安室　知

事務局　金子教育長、高橋社会教育部長、澤村館長、縣館長代理（管理担当長）、栗山館長代理（学芸担当長）

■傍聴者　なし

■会議の概要

1　開　会

博物館協議会委員委嘱状交付：任期は平成 28 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日

教育長挨拶、職員紹介、協議会委員紹介

博物館協議会会長・副会長互選：会長に石綿委員、副会長に椿田委員を選出

2　議　事

（1）報告事項等について

・春期特別展「ひらつかの家康伝説－由緒と地域－」について

・「こどもフェスタ 2016」について

（2）今後の事業計画等について

・平成２８年度　夏期行事予定について

（3）その他

・事務連絡等

■議事および質疑

議題（1）報告事項等について

◆平成２７年度事業のうち春期特別展「ひらつかの家康伝説－由緒と地域－」について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委　員　前回の協議会で特別展を見て、自らの研究とも関連していて勉強になった。一般の来館者にも好評であったということだが、内容が良かったということももちろんあったと思うが、宣伝などで何か工夫があって、来館者数につながったという実感があるか。

感想の中で、一部だけでも常設展に入れてほしいという意見があるが、これについてはどのように考えているか。

事務局　広報の面では「家康」という名称が功を奏したと思うが、報道媒体に採り上げられるケースが多かった。更に、予算措置がないため対応はできなかったが、有料の広告に関する勧誘がいくつかあった。各種報道関係者が食いつき易い名称だったと思う。結果、平塚市内だけではなく、他の地域からの来館者も多かった。アンケートでも「情報の入手先」として「新聞等」とする割合が多かった。

「常設展示にも」という意見について、現在の常設展示では、資料が少ないこともあり中世の展示が弱くなっている。こうした意見で、市民にも関心があるテーマであることが感じられるので、常設展示の中でも加えられないかという検討を始めたい。

事務局　なお特別展の内容について、可能なものについては会期終了後に２階情報コーナーにおいて引き続き展示している。

「特別展の内容を常設に」という意見はいつも頂き、良い評価としてありがたく感じているが、その中で実際にどれを常設にするかという点は今後の課題としたい。

委　員　今回は非常に入館者が多かったということで、これはローカルでメジャーというキャラクターが要因と思う。例えばローカルで“地元では”メジャーという方がいると思う。村井弦斎さんなどは毎年「弦斎まつり」で博物館から写真を貸し出している。この村井弦斎をグーグルなどで検索した時に平塚市博物館が出てこない。博物館には資料があると思うが検索では出てこない。ウィキペディアの後ろの方にある「参考文献」のところなどに刊行物を掲載しておくことで、博物館ＰＲにもなりホームページへの訪問も増えるかもしれない。多方面にＰＲすることを考えても良いと感じた。

事務局　ウィキペディアなどにリンクを貼るというようなことは今までやっていないので、参考にさせていただきたい。

委　員　アンケートを見ると、必ずそういう方はいるものだが「良くない」「つまらない」と回答した方はどういう方なのか、わかればお教えいただきたい。「良くない」「つまらない」というのであれば、わざわざこうした特別展に来ることもないと思うのだが。どういう参加をされたのかが気になる。

事務局　今回のこの回答は小学生の字だった。

委　員　それなら仕方がないが、団体で訪れる場合そこに参加したくなくても参加するということになり、どうしてもそういうことが出てくるかなと思う。

この特別展では私も開催前から打ち合わせをして、六兵衛土手の資料や秀吉の禁制についてお手伝いをしたが、開催前から入館者は多くなるだろう、注目されるだろうと思っていた。

「広報ひらつか」でも他のタウン誌についても、非常にインパクトのある写真の撮り方が功を奏したのではないか。やはり家康はすごいなという感想を持った。展示も素晴らしいと思い、どこかに展示できればいいとも考えたが、借りている資料が多いところからすると、常設展示するのは難しいと思った。

村井弦斎さんについてもそうだが、博物館ではこれまでこのような本を刊行しているとか、他にない文化財などがあれば、こういうものがありますという情報を出してもらえると、もっと博物館が利用されるのかなと思っている。

委　員　博物館の刊行物はネットで調べることはできるのではないか。

事務局　博物館のホームページには刊行物のページがあるが、いろいろなところからそこにアクセスできる方策というのは改善の余地があると考えている。

委　員　常設展示も含めて、予算も掛かることなので、今後検討していただくこととしたい。

委　員　意見の中で「チラシも入手できず」というのがあるが、ホームページでチラシがダウンロードできるようになっている。この方はご存じなかったのだろうが、ホームページへの掲載がまだまだ認知されていない。

また、せっかくの図録が紹介されていない。図録だけではなく刊行物の紹介を載せることによって、それを見て来館される方もいらっしゃるでしょうし、かなりＰＲになると思う。図録の写真を載せるだけでも、行ってみようという方が増え、図録の販売数も伸びるのではないか。

事務局　特別展の図録は通常 1000 部印刷し、これを有料頒布分と資料用・研究用、文献交換分とに分けている。半分近くが文献交換用になる場合があるので、有料頒布分は 500 部ぐらいが限度になる。

ホームページ上で特別展の案内を載せる場合、紹介ページに図録のページへのリンクを貼る場合もある。今回については貼っていなかったが、その方が効果的と思われるので、できるだけそうしていきたい。

事務局　展示会場からホームページへのリンクというご意見だったかと思うが、確かに情報提供の一体性が増すと思うので、そのようにしたい。

委　員　ホームページで図録のページ数や重さだけでなく、表紙の写真を載せるだけで「こんな特別展をやっているのか」と思うので、載せた方が良い。

委　員　図録や報告書はPDFで利用できるようにはなっているのか。

事務局　刊行して頒布している図書についての全文掲載は、容量の負荷等も考慮して行っていない。大きさにもよるが、既に完売し残部がなくなってしまったものについては部分的にホームページに掲載しているものもある。

◆平成２８年度事業のうち「こどもフェスタ2016」について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委　員　今回のこどもフェスタにはいろいろなイベントに終日参加した。午後3時30分からのクイズ大会に参加した親子の多くが朝のイベントから参加している。朝、ご家族で来館しイベントの表をもらい午前中のイベントに参加、文化公園のベンチで昼食をとった後、午後のイベントに参加していた。楽しみにされていた様子で、こどもフェスタのイベントはもっとＰＲすると良いと思った。

気になったのは、クイズの中で「考古」や「民俗」など博物館の分野を問題のテーマにしていたのは、小学校の低学年には難しいかと思った。

「小さいけど偉大なプチ化石実物図鑑づくり」は2013年度から４年連続で実施している人気イベントだが、標本を磨く耐水ペーパーを2500番まで使用している。こどもの体験イベントでは2000番程度でも充分なところだが、そのようにはしていない。こども向けといって決して手を抜かない平塚市博物館の体験イベントの品質に感心した。ただ、なぜ2500番を使うかという説明があっても良い。

事務局　クイズ大会の内容について、委員のおっしゃる通りだと思う。開催後の学芸員の話し合いでも話題になっている。更に、決勝では小学校の低学年から高学年まで年齢幅があり、高学年の方が有利になるので、学年によるハンディキャップなども必要ではないかという話も出ている。来年度以降もクイズ大会を実施するならば、改良の余地はかなりあると感じている。

委　員　「民家で紙芝居」ではライトが観客に向いているものがあり、まぶしくて気になった。

事務局　　検討する。

議題（2）今後の事業計画等について

◆平成２８年度夏期行事予定について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委　員　　「レンズが見た平塚」で写真を公募したということだが、こうした公募は普段博物館に興味のなかった方が興味を持つきっかけにもなると思う。ただし、博物館に興味を持っていない方が公募を目に留めるというのは、かなりハードルが高いのではないか。その辺の工夫はしたのか。

事務局　　公募については「広報ひらつか」と「あなたと博物館」、ホームページで呼びかけた。応募はそう多くは無く、前回もそうだったが現在の状況とは異なり、カメラや写真を持っている方が限定されているように感じる。前回の応募者が再度応募されるケースが目立っている。現在の秘書広報課が広報用に撮り貯めている写真を活用する予定である。

委　員　　今後もこのような企画を進めることもあるかと思うが、恒常的に写真を集めることをしても良いのではないか。

委　員　　博物館でフェイスブックを立ち上げる予定はないか。その中で写真の提供を呼びかけても良いのではないか。

事務局　　フェイスブックは平塚市が発信しており、その中で博物館の話題もかなり採り上げてもらっている。現時点で博物館単独では予定していない。

委　員　　企画に合わせて期間を定めて募集するのではなく、常に求める形にした方が良い。博物館でこういうことをやっているということを知る機会を増やした方が良い。

事務局　　実際に「公募します」という話はメディアに採り上げられにくい。特別展をご覧になった方から開催後に写真を提供いただくことも多い。一つの工夫として、前回の古写真展の内容を協働推進課の「みんなのまち情報宅配便」のメニューに登録し、コンスタントに申し込みをいただいている。こうした場を利用して写真の持っている価値については発信をしている。ホームページ等の利用についても今後の課題としていきたい。

議題（3）その他

◆議題以外の話題等。

委　員　　タウンニュースの秦野版で、平塚市博物館の展示がきっかけで新しい発見につながったケースが記事として取り上げられていたので情報提供する。

委　員　村井弦斎について、小学校では「100 年後の未来予想」というのを国語の教科書で扱っている。当時の予想がけっこう当たっている。

委　員　博物館では学芸員の研究活動も重要で、その上にいろいろな行事が成り立っているものなので、協議会の中で研究活動の状況についても紹介していただける機会が欲しい。

事務局　会長とも検討・調整したい。

◆次回の日程を調整して閉会。

以　上

資　料

平成２８年度　第１回平塚市博物館協議会　次第

平成２８年５月２０日（金）午前１０時
平 塚 市 博 物 館 特 別 研 究 室

１　開会

（１）　委嘱状交付

（２）　会長、副会長の選任

２　議事

（１）　報告事項等について

・　春期特別展「ひらつかの家康伝説―由緒と地域―」について

・　「こどもフェスタ２０１６」について

（２）　今後の事業計画等について

（３）　その他

・　事務連絡等

３　閉会

以　上

平成27年度春期特別展「ひらつかの家康伝説　由緒と地域」開催報告

会　　　期　　2016（平成28）年3月19日（土）～5月8日（日）

休館日：月曜日（3月21日は開館）

主　　　旨　　平塚市域には徳川家康に関する史跡や遺品や由緒、伝承が多い。これは天正18年の江戸入府以来の平塚市域と徳川家康の間で取り結ばれた歴史的な関係に基づいている。また、現在の平塚市域の地域的特色の形成には徳川家康の存在が大きく関わっている。そこで、徳川家康没後400年を節目に、平塚における徳川家康の足跡、徳川家康と平塚市域との関わり、由緒・伝説の紹介を通して、市民に地域と歴史に目を向け、地域に対する理解と関心と愛着を深めていただくことを目的とする。

展示構成　　Ⅰ小田原合戦と西相模／Ⅱ家康の関東入国／Ⅲ御茶屋寺と中原御殿／Ⅳ家康と平塚の地域形成／Ⅴ地域にのこる家康伝説

入　館　者

	入館者数			開館	こどもの	平均入館
	大人	こども	合計	日数	割合	者数/1日
3月	2688	503	3191	12	15.8%	266
4月	3883	593	4476	26	13.2%	172
5月	2485	1764	4249	7	41.5%	607
期間計	9056	2860	11916	45	24.0%	265
26年度	8746	3207	11953	54	26.8%	221

「天変地異　平塚の自然災害」(3/11～5/10)

関連行事　　記念講演会「中原御殿と中原陣屋―その特質と役割」　（参加146名）

斉藤司 氏（横浜開港資料館主任調査研究員）

3月26日（土）13:30～15:00

記念講演会「中原御殿に家康の戦略を読む」　（参加151名）

栗山雄揮（平塚市博物館学芸担当長）

4月9日（土）13:30～15:00

記念講演会「家康由緒と平塚の地域形成」　(参加 124 名)

早田旅人（平塚市博物館学芸員）

4 月 16 日（土）13:30～15:00

特別展展示解説

① 3 月 20 日（日） 13 時～13 時 55 分 （参加 51 名）

② 4 月 23 日（土） 13 時～13 時 55 分 （参加 31 名）

③ 5 月 7 日（土） 13 時～13 時 55 分 （参加 52 名）

野外見学会「中原御殿を歩く」

4 月 3 日（日） 10 時～12 時（雨天講堂開催） （参加 26 名）

印　刷　物　図録「ひらつかの家康伝説　由緒と地域」

A4 判　64 頁　カラー　1000 部　頒布価格 ¥900

開催期間内頒布部数：488 部

ポスター　B3 判　カラー　500 部

リーフレット　A4 判　カラー　2000 部

アンケートの結果

回 収 枚 数　141 枚

回答者の住所　平塚市内 77 名、平塚市外神奈川県内 47 名、神奈川県外関東地方 7 名

関東地方以外 4 名　海外 1 名

回 答 者 性 別　男 84 名、女 52 名、

回 答 者 年 齢

～19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
19 名	8 名	11 名	19 名	19 名	17 名	44 名

情報の入手先　広報ひらつか 52 名、博物館のホームページ 14 名、あなたと博物館 12 名、

（複数回答可）　新聞等 35 名、ポスター15 名、口コミ 16 名、その他 16 名

おもしろさ	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	93 名	32 名	9 名	2 名	1 名
	67.8%	23.3%	6.5%	1.4%	0.7%

難　し　さ	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	54 名	54 名	21 名	5 名	2 名
	39.7%	39.7%	15%	3.6%	1.4%

総合評価	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	85 名	43 名	5 名	4 名	1 名
１　３　８	61.5%	31.1%	3.6%	2.8%	0.7%

ご意見・ご感想

- 楽しかったです。昔の地名などもよく分かりました。（70 代・女）
- 地元（ローカル）で、メジャーなキャラクター（家康）についてほりだした着眼点に感服しました。住んでる所は中原上宿なので足を運んでみようと思いました。（30 代・男）
- 真田丸を見てから興味を持ったにわかなので大変勉強になりました。前からサッカーを見に来ていた平塚にこんな歴史があるのを知りませんでした（ちょうど数日前に中原御殿を知った）。もっと勉強したいと思った。（40 代・女）
- 「ひらつかと家康」で特別展とした企画はすばらしいと感じました。また展示も判りやすかった。出来ればこの一部だけでも常設展に組み入れてほしい。平塚の人は今回の展示内容を知らない人が多い？
- 中原が家康の狩場であった程度の情報は耳にしていたが、これほど詳細、具体的に史料・事物を多々公開、展示は迫力あり。平塚市民老若年齢層越えてもっと PR する価値意義あろう。市内小

中学校児童の郷土社会・歴史にも一行一分なり触れているのだろうか。幾年かのちには再企画あらんことを。講演会も秀逸なり。（70 代・男）

- 入る前カタログを観たら「今井」の写真が一番最初に見れて、会場に入り最初の小田原合戦一章丁寧にみた。小田原在住というだけでなく非常に案内に書いてあったように「日本史上」皆が知っているところ興味深く、見ていってきたかいがあった。チラシも入手できず、チラッとみたポスターだけで不安だったが、4 日、あと数日前でラストチャンスと思い出てきました。一夜城の方でなく今井陣場という場所を早くから知っていて気にしているところで関東移封になる前に家康が関東側にいたという史跡と思っています。（60 代・男）
- おもしろかった。（20 代・女）
- ボランティアの人が説明をしてくれて、とてもわかりやすく、良かったです。（中学生・女）
- 実家が中原なので、自分の育ってきた場所が歴史に残っているところが興味深かった。（40 代・女）
- 徳川家康と中原御殿との関係性についてはある程度知っていましたが、御殿の造営と金目川の堤普請との関連、平塚の地域形成の前提となっているとの指摘など、新しい発見があり、大変興味深く展示を見させていただきました。断片的な家康伝説をまとめていただき、平塚固有の語られ方がわかりました。地域の価値を再発見するうえで博物館が重要な役割を果たしていることを実感いたしました。（40 代・男）
- 地域が家康に何を求めていたか、地域とは何か、地域を思う人間が当時存在していたのか、ギモン、ロマン。
- とても勉強になる展示でした。（小学生・男）
- 展示解説拝聴させていただきましたが、展示物を見るだけというのと解説付きというのはやはり入ってくる情報量が違いますね。とても勉強になりました。記録用のカメラがなければ尚良し。カメラ嫌いなので…。（20 代・女）
- 大堤と家康がかかわっているとは、知らなかった。ためになりました。（40 代・男）
- （展示解説）はっきりした案内人の語り口でとても聞き易かったです。伝説を通してのお話と史実のかさなりがわかるようです。（70 代・女）
- 題材がとてもよくうれしい企画です。御殿のことは聞いてはいましたがあまり話題になりませんね。今回の展示で今の生活にこんなにもつながっていることがよく分かりました。古文書のていねいな説明ありがとうございます。漢字で内容はだいたいわかりました…なんとなくですが・・・（50 代・女）

・ 家康は余り好きではなかったのですが、この展示会を見て親しみを感じるようになりました。(70代・女)
・ 大変勉強になりました（40 代・男）
・ 中原御殿について今迄知りたいことが多かったが、今回の展示で多くの疑問が解決しました。家康が平塚に下賜された什器・人間関係が多いのに再認識しました。諸行事などもっと広報してほしいと思いました。（80 代・男）
・ 平塚の町の発展と家康は深く結びついているということがよく分かった。今まで江戸に比較的近い平塚の地域史に興味をもっていたものの、足がかりとなるテーマがなかなか見つからず悶々としていたため、今回の展示は非常に興味深かった。平塚市民としては特に御酢についての話題が気になった。幻とされている御酢を是非口にしてみたいと思った。（20 代・男）
・ 天下の家康に関することが、平塚市中心にこれほど介在していることに驚きです。御林が想像しただけでもすごい面積だったこと、昔が偲ばれます。（80 代・男）
・ 資料充実、納得。（70 代・男）
・ 年代的に無理でもただただ驚きました。多くの資料収集御苦労様でした。400 年前が想像できます。（80 代・男）
・ いろいろみれてよかった。（中学生・男）
・ 家康が平塚と深い関係があるとは思いませんでした。私は 4 月 17 日生まれなので家康の生まれ変わりだと思っていま…笑。これを拝見して、どれだけ自分の頭に入るか楽しみです（70 代・女）
・ 平井充（資料提供者）の孫ですが、しらなかったことも知れたと思った（10 代・男）
・ 現在の平塚の地図があれば、もっと身近に感じることができたと思いました。（40 代・男）
・ たくさんまなべた（中学生・女）
・ 静岡です。関連があり面白かった（70 代・男）
・ 中原御殿における家康との関わりは知っていたが、金目から田村など広範囲において足跡があったのは大変驚きました。また、家康に対する見方も変わりました。茶碗や家康にちなんだ品々の保存状態の良さに保存されていた方々の御苦労を感じずにはいられませんでした。大変貴重なもの、歴史を堪能させていただきありがとうございました。博物館の方々ありがとうございました。（50 代・女）
・ 細かい役職の説明などがあると尚わかりやすい（系図など）。すべての文書に翻刻の文を付けてもらえるとありがたい。それから文中の注目ヶ所がわかるようにマークがあると助かる。郷土愛

が湧く展示だった。家康一人と侮るなかれ、大きな影響力を持っていたのだと実感した（20代・女）

・ 家康と平塚との関わりがよく分かり興味深く見ることができた。戦国時代の頃もあればもっと良かったと思います。（60代・男）
・ 以前、品川歴史館で中原街道展を見学した（60代・男）
・ 平塚に住む者として楽しく見れた。現在との違いやその頃はどの様な自然だったかのか思いをめぐらせて回れた（50代・女）
・ 説明文がガラス越しですと、やや小さく見えづらいと感じました。文字をもう少し大きくして下さるととてもありがたいです。また、器にライトアップされて見やすくされていたり、心配りを感じられ、とても良いと思いました。（30代・女）
・ 以前、中原に居住していた。改めて歴史の重みを感じた。（60代・男）
・ 平塚市外地から移転してきた者などには中原御殿は余りにも不明確な土地柄か家康公についても今回の展示物や書物により、なるほどと思えたが、平塚市には本来、遺跡や歴史的価値観の高いところをもっと大切に保存しておくべきだったのでは…今後ともそう強く感じた（60代・女）
・ 思ったより見ごたえがあってよかったです。（40代・女）
・ 私は友人と現在中原往還を歩いています。虎の門から小杉御殿まで来て今回の特別展を知り、見学させていただきました。とても参考になりました。有難うございました（60代・男）
・ 家康由来の事物が地域内にたくさんあることがよくわかった。（50代・男）
・ 親切に分り易く解説してくれたので充分理解できた。そしてテーマが家康との関わり合いでより一層の興味を満たされた（60代・男）
・ 学校を卒業してからお城めぐりをしていましたが、地元を全く知らなかったことが残念だったので、昨年、今年と講演会のあとあちらこちら回ることができてよかったです。とても良い勉強になりました。ありがとうございました。（50代・女）
・ 知らないことが多く、こういうことをもっと知りたくなった。（80代・男）
・ 知らなかったことなど知ることができてとても良かったです。これからも特別展をやって欲しい。勉強になりました。ありがとうございました。（50代・女）
・ また、やってもらいたい。現代と家康時代の地図をくらべてみたかった。（50代・女）
・ まだこれでも一部の記録なのでしょうね。史実と照らし合わせて地域史を更に整理しなければならないといえます。まだまだ公開するだけの家康が歩んだ足跡はまだ眠っているのではないかと思いました（50代・男）

- 4月2日（土）午前、たくさんの来場者があったが、説明の女性（ボランティア？）が特定の御夫婦にだけずっと説明しっぱなしでちょっと不愉快でした（70代・男）
- とても面白かったです。ただ、文字が多く、子どもには少々分りにくいと思いました（20代・女）
- 平塚・中原の歴史がよく分かりました。素晴らしい展示だったと思います。（40代・男）
- 平民から見上げた感のある家康が見れて、来てよかったと思います（50代・男）
- 中原御殿の件、この時代一時政治を行っていたことに感心をすこぶる感じた。この時期に平塚をえらんだことに何か思うことがあったのか？平塚と家康をもっと広く伝えてもらいたい。（70代・男）
- 相州中郡絵図の原寸大PDFが欲しい！（50代・男）
- 私はれきしにあまりきょうみがないので、あまりきたいはしていなかったのですが、おもしろいのがみれてよかったです。（10代・女）
- 歴史好きでよかったなー（10代・女）
- 文がよめなかったけどきれいだった（10代・女）
- 市外の者なので平塚と家康のゆかり自体、「あなたと博物館」で初めて知って伺いました。平塚という町についても、少し詳しくなり、親しみを感じました（30代・女）
- 御林の事、興味があったので楽しかった。絵図は読みにくい文字なので、現在の地図ともっと見比べられるようにしてあったら、より良かったのでは（70代・男）
- 私は辻堂に住んでいますが、興味があり伺ったのですが、駅からの案内・敷地に入ってからの案内など、わかりずらかったです。現在の地図との比較などもう少し多く展示していただけたらと思いました。
- 中原御宮記の全文を見られたのはとても良かった。御殿跡の発掘調査に関する情報を見たかった（30代・男）
- 平塚の現在の発展の礎を築いたのは家康であったという部分が大変興味深かった（40代・男）
- 展示資料の「家康関連史跡由緒伝承」「中原御殿歴史年表」は大変貴重で有意義。有用。何れ市広報などに転載して市民の目に供しては如何？（70代・男）
- 地元の伝承などなかなかWEBで検索しても出てこないので面白いです。今度は北条家や源頼朝などでも企画してほしいです。（40代・男）
- 身近に家康の由緒ある物・場所があり興味深かった。無償で配布する資料も欲しい。（70代・男）

・ 中原御殿のことは知っていましたが、それ以外にもいろいろな家康に関することがあり、それを知ることができました。とてもよい展示でした。ありがとうございました。（30 代・男）
・ 葵の紋章入りの品々、当時の物が残っていること。中原酢の甕があること（珍しい）、家康伝説色々あり、参考になりました（80 代・男）
・ 毎年四月に展示したらいかがですか？（60 代・男）
・ 近くに住んでいても、中々知ることができないものをまとまって知ることができ喜んでいます（70 代・男）
・ 家康と平塚の関係がわかって面白かったです。住まいが豊田なのでより興味がわきました。また、今回は参加できなかったので、講演等まじえて企画展を開催していただけたらと思います（30 代・女）
・ 平塚の家康のかかわりがよく分かった（80 代・男）
・ 丁寧にガイドをしてくださり、ありがとうございました。話を聞いて平塚は家康と密接なつながりがあったことがわかり、驚きましたが、おもしろかったです。今後の真田丸の見方も変わります！（40 代・女）
・ 大磯にも家康にまつわるところがあるので、それも合せて取り上げて下さったらさらに良かったです。でもとても良かったです（40 代・女）
・ 真偽問わず色々な伝説の説明があってとても面白かったです。図録があるのもとても嬉しかったので、またこういう展示の時は作ってもらえると嬉しいです（30 代・女）
・ 中原御殿で仕えていた人の役割とか人員が記されていると興味深かった。没後柩が泊った時の中原御殿へ入った道順、日光山へ向かった時の千人程のおつきが中原へどのように宿をとったのか？（70 代・男）
・ 今後とも同種の展示をお願いする（70 代・男）
・ 展示内容は大変すばらしいです。ただ、展示室内でガイドの男性が大声でしゃべるのはよくありません。改善されるべきです。おちついて見学できません。（40 代・男）
・ ボランティアガイドを複数置くのはやめてほしい。各々が高声で解説をしているのが重なってしまい、集中して展示を見られない。静かに展示を見たい私のような者もいるので出来ればガイドのいる日といない日を分けてカレンダーに明示するなどしてほしい。（40 代・男）
・ 南側の列にある陳列物がもっと（半分くらい）近くないと見えない（60 代・男）
・ キャプションが細字のため、年々視力の衰えている自分としては見づらく感じました。茶碗も防災上仕方ないですが、もう少し目線を高く展示してもらえるとよいのではないかと。かがむ姿勢

がちょっと辛いです。（50 代・女）

- 写真禁止が残念。図録も高価。自分で調べたいけど忘れてしまうかも。ホームページに載せていただきたい。（女）
- 家康入京以来の経歴など少し理解しましたが、当時の馬入川とのかかわりについて伝説など見られないように思えましたが？当時はいかがでしたでしょうか。（80 代・男）
- 子どもには難しかった。（小学生・女）
- プラネタリウムを観に来たらやっていたので見に来ました。
- こういう場で良く感じるのは特に老人が大声で資料を語り合う姿です。（周囲の人に悪いという意識がないのが大きな問題だと思う）他にも真剣に資料を読む方もいる中、マナーの悪さを強く感じます。知識を語り合うのは悪いことではないのですが、うるさすぎるのが地方の展示室の悲しさです。内容は実に面白いものです。大堤には大変興味がありました。ありがとうございます。（50 代・男）
- 会場手前にある見本のヒモの長さおかしいと思うのは自分だけか。も少し長くしてもらえないと読みやすい位置には来ないし、見る為に身をかがめるのは腰悪い自分にはキツイ。買って帰って読むから良いけど、誰目線なのか気になるところ。個人的に良かったのは展示一番最初、図録では一番最後の家康関連伝承のところ。（20 代・男）
- まあまあだった。もっと刀などかざってほしい。大人はおもしろいかもしれないけど、子どもはそれほどでもない。
- 壁紙が古すぎて内容が頭に入ってきません。あのシミは雨漏り？資料を展示しても大丈夫なのでしょうか？

調べてみたい、知りたいと思っていること

- 三浦氏と田村、岡崎義実（50 代・男）
- ①家康、②街道（40 代・女）
- 「真田丸」との関連で興味もてて観覧できました。今後も家康伝説がその後の姿として公表できる時は展示企画してください。楽しみにしています（70 代・男）
- 家康の刀。（小学生・男）
- 平塚市内の地名のいわれについて、歴史的背景とともに知りたい。（50 代・女）
- 平塚の戦争。（小学生・男）
- 今回のように、平塚は誰が治めていたのか、大久保氏？とか知りたいです。（50 代・女）

- 地名の由来・変遷（50 代・男）
- 幕末から明治初期の平塚の動き（40 代・男）
- ①御殿の守りの体制はどうなっていたのか？②秀忠以降、平塚と幕府の縁が薄くなったのはなぜか？
- 幕末期の外交、またそれによる民衆への影響など。軍需工場と平塚の民俗・風俗的なかかわり（20 代・男）
- 随分鷹狩りにきたけど全部で何回くらい？鷹狩りをしたのか、そして鷹狩りをしてその帰りにてんぷらを食べて死んだと書いてありましたが本当でしょうか？（70 代・女）
- 平塚の歴史、あと（70 代・男）
- 市内各神社・寺の由来（パワースポットブームに乗って）。平塚の著名人（村井弦斎や木谷実など）の特集。市内のお祭り特集（七夕から豊年祭などなんでも）。市内の伝説・昔話（20 代・女）
- 戦国時代の変遷（60 代・男）
- 地形の変化（古代～現代）（60 代・男）
- 中原御殿そのもの、取り壊されてしまったが、御殿の（他地域のものを参考などにして）建物の具体的な状況をぜひ知りたい。（70 代・男）
- 平塚市中心商店街の戦後から現代。戦後の区画整理。七夕まつりの先駆け、復興祭について（60 代・男）
- 平塚の遺跡やその年代などを詳細をわかるようにして頂きたい（60 代・女）
- 高麗山など古代にこと、鎌倉時代の御家人のこと、平塚周辺（80 代・男）
- 戦国～幕末時代の平塚との歴史についてもっと見てみたいです。平塚にもこんなにも貴重な品があるのだと驚きました。また違った展示を開催してほしいです！！とても面白く見させていただきました。ありがとうございました。（30 代・女）
- 他の武将のも知りたい（50 代・女）
- 寺・神社の中にある史料には興味があります。大松寺にも戦国時代当時からあったものと言い伝えられています。庶民の生活の中心が神社仏閣にあったもので、家康伝説がどのように伝わって来たのか、更に整理しておく必要があるのではないでしょうか。あいまいな形で風化していてよいものか全体を通して考えたい。（50 代・男）
- 歴史上の偉人について。今回の家康伝説のような。（20 代・女）
- 平塚及び大住郡地域の古代からの新田開発、及び用水の開発など。（60 代・男）

- 中原街道について更に知りたいです。ぜひ特別展示企画をお願いします。（40代・男）
- 江戸から明治に変わる折、平塚はどのような反動があったのか（70代・男）
- 平塚の浮世絵と古地図特集（50代・男）
- 真田城（30代・女）
- 五領ヶ台・古墳（40代・男）
- 平塚海軍火薬廠が何故平塚に発することになったのか？その後の展開経緯と今日までの変遷。市発展への寄与・功罪評価は？（70代・男）
- 今回の展示を見て家康の一生を調べてみたくなりました。古文書を読めるようになりたいですが、博物館の会は「読める人」しか会員になれないようなので残念。（女）
- 北条氏時代の平塚市内の防御態勢。岡崎・真田城ほか砦などあれば、もしくは文献などからの引用を紹介してほしい。（40代・男）
- 小田原合戦の北条方についてもう少し知りたいと思いました（50代・男）
- 地元中原地区にて東照権現祭の武者行列について着るもの、履き物その他身に着ける小物についてしりたい。（80代・男）
- 私は県外（市外）から引っ越してきた者ですが、文化の由来に興味があります。門松が質素なのに驚きました。機会があれば調べたいと思っています（30代・女）
- 博物館の学芸員さんの普段のお仕事内容。学芸員さんの役割など（40代・男）
- 寺社のいわれ、伝説など（30代・女）
- 家康の中原御殿来場記録（70代・男）
- 武蔵小杉にも御殿町があるので、それとのかかわりがあるか。中原区（70代・女）
- 市内神奈中バスの移り変わり。系統・車両など（30代・男）

博物館こどもフェスタ 2016　結果報告

開催日：平成 28 年 5 月 7 日（土）

天候に恵まれ、1 日を通して計画したイベントを予定通り実施できた。連休の並びの関係か、参加者は昨年よりやや減少したが、10 年ぶりに復活したイベントもあり、大いに盛り上がった。アンケート結果からは、総じて楽しんでもらえたことがうかがえる。

参加者数

2016 年 5 月 7 日　こどもフェスタ参加者人数			
イベント名	大人（人）	こども（人）	合計（人）
古代生活体験「火起こし」	103	117	220
博士は君だ！小学生クイズ大会	25	30	55
縄ない体験	34	69	103
むかしの秤体験	25	50	75
洗たく板でお洗たく	30	63	93
むかしのアイロン体験	13	27	40
むかしのこども遊び	40	82	122
おはやし太鼓体験	20	30	50
民家で紙芝居	21	42	63
おいしく学ぶキッチン火山実験	31	40	79
小さいけど偉大な プチ化石実物図鑑づくり	27	45	72
プラネタリウム こどもフェスタ・スペシャル	163	154	317
太陽黒点を見よう	68	34	102
水ロケットを打ち上げよう	110	55	165
博物館ぶたいうらたんけんツアー	33	38	71
おしえて！博物館	50	113	163
イベント参加者合計	793	989	1782

一般入館者数（受付　カウント数）	542	428	970

27 年度　　イベント参加者合計　1823　一般入館者数（受付カウント数）1019

26 年度　　イベント参加者合計　1923　一般入館者数（受付カウント数）796

博物館こどもフェスタ2016　アンケート

2016年5月7日　　平塚市博物館

学年・男女別回答者数

学校	学年	男	女	性別不明	計
	３才	1	2	0	3
	４才	0	0	0	0
	５才	0	0	0	0
小学校	１年	1	3	0	4
	２年	4	3	0	7
	３年	2	0	0	2
	４年	1	4	0	5
	５年	0	1	0	1
	６年	0	1	0	1
中学校	１年	0	1	0	1
	２年	0	0	0	0
	３年	0	0	0	0
不明（または上記以外）		0	0	0	0
合計		9	15	0	24

来館者のお住まい

市内21名　市外2名　記入無し1名

「博物館こどもフェスタ」への過去の参加経験

ある10名　ない14名　記入無し0名

参加したイベントの感想

イベントの名前	感想（かんそう）				
	おもしろかった	すこしおもしろかった	ふつう	すこしつまらなかった	つまらなかった
古代生活体験「火起こし」	5	5			
博士は君だ！小学生クイズ大会	1	2	2	1	
縄ない体験			1		
むかしの秤体験	2				
洗たく板でお洗たく	4	1			
むかしのアイロン体験	4				
むかしのこども遊び	5	1			
おはやし太鼓体験	3				
民家で紙芝居	2	2	1		1
おいしく学ぶキッチン火山実験	6	1			
小さいけど偉大なプチ化石実物図鑑つくり	6			1	
プラネタリウムこどもフェスタ・スペシャル	13		1		
太陽黒点を見よう	5	2	1		
水ロケットを打ち上げよう	9	1		1	
博物館ぶたいうらたんけんツアー	3	1		1	
おしえて！博物館	6	1	2		

博物館こどもフェスタ 2016　アンケート自由記述

	年齢	学年	意見・感想
1	9	小 4	とてもたのしいのでまたやりたい。
2	7	小 2	かせきのやつがおもしろかったです
3	10	小 4	楽しかった　またやってほしい

4	3		内容が難しかったので、幼児向けがあるとよかったです
5	6	小 1	たのしかった
6	6	小 1	とてもたのしかったです
7	3		はくぶつかん大好きです。また来ます。
8	8	小 3	とても貴重な経験をさせていただきました。来年以降も楽しみにしています。以前来たときに出来なかったので(化石とか火山)朝一で並んで良かったです。子どものころにもどったようでたのしかったです。
9	7	小 2	かせきずかんがとくにおもしろかった。
10	7	小 2	ほしがいっぱいあっておもしろかった
11	8「	小 2	1 日じゃたりないので 2 日やってほしいです

平塚市博物館　平成 28 年度　夏期行事予定

■夏期特別展

開館 40 周年記念　夏期特別展「レンズが見たひらつか２　1976-2016」

会　期　平成 28 年(2016 年)　7 月 16 日（土）～9 月 11 日（日）

主　催　平塚市博物館

会　場　平塚市博物館　特別展示室

概　要　去る 2012（平成 24）年に、平塚市制 80 周年を記念して夏期特別展「レンズが見たひらつか －あの日、あの場所、あのくらし－」を開催し、平塚市が誕生した 1932（昭和 7）年から当館開館の前年にあたる 1975（昭和 50）年までの平塚の街並み・暮らしを写した写真を公募し、展示した。

2016（平成 28）年は平塚市博物館開館 40 周年にあたる。本特別展はこれを記念し、平塚市民や諸機関から寄せられた写真や関連する資料を展示する。

公募・展示する写真は「レンズが見たひらつか －あの日、あの場所、あのくらし－」展を受け、平塚市博物館が開館した 1976（昭和 51 年）から 2015（平成 27）年までの 40 年間の平塚市とその周辺の写真で、地域のまちの歩みや風景、景観の変化が表れている写真、地域や家庭のくらしぶりが伝わる写真、地域の歴史的出来事に関する写真などを対象としている。

また、博物館活動の 40 年間を振り返ることができるコーナーも設置する。

主対象　一般市民、幼児、小学生、中学生、高校生、教職員、一般指導者、研究者

構　成

Ⅰ　「あの頃と今～街なみとくらし～」
- 1　移り変わる街
- 2　失われたものたち

Ⅱ　「あの日あの時」
- 1　1976～1985（博物館、湘南大橋、なでしこ小開校、市役所新館など）
- 2　1986～1995（総合公園、ラスカ、スターモール、ベルマーレなど）
- 3　1996～2005（日向岡トンネル、湘南銀河大橋、アリーナなど）
- 4　2006～2015（八幡山洋館、パークゴルフ場、市庁舎、市民病院など）

Ⅲ　「写真で見る博物館の 40 年」

関連行事　①　記念講演会「平塚市博物館・現在・過去・未来」

内　　容　開館から現在、そして未来の博物館について前館長・現館長によるリレートークを行います。

開 催 日　日時：7 月 24 日（日）

開催時間　午後 1 時 30 分～午後 3 時（開場は午後 1 時 15 分）

講　　師　鳫宏道（前館長）・澤村泰彦（館長）

会　　場　博物館 1 階　講堂

参　　加　自由

定　　員　50 人

②　展示解説　期間中 3 回

開 催 日　7 月 16 日（土）、8 月 20 日（土）、9 月 4 日（日）

時　　間　午後 1 時～午後 1 時 50 分

会　　場　特別展示室

印刷物　①　図録

②　リーフレット

③　ポスター

■企画展

寄贈品コーナー「河内の籠屋－吉川順郭の仕事－」

内　容　市内河内在住の竹細工職人である吉川順郭（まさひろ）氏が製作した籠や笊などの竹製品を、人生や仕事について語る氏の言葉、製作工程の映像とあわせて展示紹介します。

会　期　6 月 18 日（土）～7 月 14 日（木）

寄贈品コーナー「平塚空襲展」

内　容　写真・資料で平塚空襲の実態を紹介します。

会　期　7 月 16 日（土）～8 月 21 日（日）

情報コーナー　三館コラボレーション企画展「錯視錯覚の科学」

内　容　人間の脳や光のトリックで起きる錯視や錯覚の不思議を科学します。

会　期　7 月 2 日（土）～10 月 7 日（金）

■プラネタリウム

プラネタリウム一般向け番組「フリートーク・プラネタリウム」

内　容　担当学芸員が毎回自由にテーマを設定してお送りします。

投影日　7 月 10 日（日）までの土・日曜日

時　間　午前 11 時、午後 2 時　※土曜日午前 11 時の回を除く

プラネタリウム一般向け番組「賢治が綴った星空」

内　容　宮澤賢治の童話作品には様々な星・天体が登場します。それらは賢治独自の視点によって生命を与えられ、独特の世界観を生み出しています。そんな宮沢賢治が童話の中に綴った星たちの世界をご紹介します。

投影日　7 月 16 日（土）～9 月 25 日（日）までの土・日曜日
および 7 月 21 日（木）～8 月 25 日（木）までの水・木曜日。8 月 11 日（祝）

時　間　午前 11 時、午後 2 時

プラネタリウム幼児向け投影「ほしみる おじさん」

内　容　はてしなく広がる宇宙のなかのわたしたちの地球。おじさんとウシくんののどかな一日を通して、はじめての子どもにもわかりやすく伝える宇宙のおはなし。同名の絵本が原作です。

投影日　7 月 9 日（土）までの土曜日

時　間　午前 11 時

※「親子ほしぞらタイム」: 7 月 9 日（土）まで、小学生以下のお子さんとご一緒のお母さんお父さんは、幼児向け番組の観覧料が無料になります。

特別投影「館長の星空解説『いつもの星空』」

内　容　見上げればいつもあるのに、決してとどかない…そんな星空をもっと身近にする、博物館長の星空案内。

投影日　7 月 9 日（土）

時　間　午後3時30分

特別投影「星空と音楽の夕べ」

内　容　メンデルスゾーンのバイオリン協奏曲から

投影日　7月16日（土）

時　間　午後4時

■申込制の行事

自然観察入門講座「貝化石を調べよう」

内容　大磯海岸で地層や貝化石を調べ、大地の生い立ちを学びます。

日時　7月28日（木））午前9時～午後3時

場所　大磯海岸

対象　小学4年生以上

体験学習「縄文人になろう」

内容　マイギリによる火起こしや弓矢など、古代人の技術を体験します。

日時　8月12日（金）午前10時から午後4時

対象　小・中学生

体験学習「河原の石ころ図鑑をつくろう」

内容　相模川の川原石を使って石ころ図鑑を作ります。

日時　8月16日（火）・18日（木）　午前9時から午後4時（両日参加が必要）

場所　神川橋河川敷・博物館講堂

対象　小学生～高校生

体験学習「体験！宇宙飛行士選抜試験」

内容　宇宙飛行士を選ぶときの試験をちょっとだけ体験してみましょう。

日時　8月23日（火）午後1時30分から午後4時

対象　小・中学生

みんなで調べよう！ 2016　～セミのぬけがら調べ～（調整中）

内容　セミのぬけがらを記録して、平塚市内に生息するセミの種類と分布を調べます。平塚市博物館と平岡幼稚園の協働事業です。

調査期間　平成 28 年（2016 年）7 月 17 日（土）～8 月 23 日（火）

講習会　7 月 17 日（日）、7 月 21 日（木）　※いずれかの日程で受講

合同調査　7 月 24 日（日）

まとめ　8 月 23 日（火）

対象　一般（小学生以下は保護者同伴）

自然教室「川辺の鳥をみよう」（調整中）

内容　水辺の鳥を中心に観察します。

日時　８月

■自由参加の行事

体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」

内容　偏光板という不思議な板を使って万華鏡を作ります。

日時　7 月 22 日（金）午前 10 時～午前 11 時 30 分、午後 1 時～午後 2 時 30 分

7 月 29 日（金）午前 10 時～午前 11 時 30 分、午後 1 時～午後 2 時 30 分

スターウォッチング入門講座・夏

内容　星空をちょっと眺めたいなという人や、これから星を見始めたい人のための入門講座です。流れ星の観察方法や天の川の見やすい場所を紹介します。

日時　7 月 2 日（土）午後 3 時 30 分～午後 5 時　開場は午後 3 時 15 分

君もプラネタリアン

内容　プラネタリウムの星座解説に挑戦してみたい小学生集まれ！

日時　7 月 21 日（木）午前 9 時 30 分～午前 10 時 15 分

8 月 4 日（木）午前 9 時 30 分～午前 10 時 15 分

8 月 18 日（木）午前 9 時 30 分～午前 10 時 15 分

ジュニア天文教室

内容　こども向けの天文入門講座

日時　8 月 7 日（日）　午後 3 時 30 分から午後 7 時

8 月 21 日（日）　午後 3 時 30 分から午後 7 時

ろばたばなし

内容　民家のいろりばたで昔話を語ります。

日時　　　7月17日（日）　⑴午後1時20分　　⑵午後3時

　　　　　8月21日（日）　⑴午後1時20分　　⑵午後3時

星を見る会「火星・木星・土星を見よう」

日時　　　7月29日（金）　午後7時～午後8時30分

星を見る会「伝統的七夕を楽しもう」

日時　　　8月9日（火）　午後7時～午後8時30分

星を見る会「火星と土星、アンタレスの接近を見よう」

日時　　　8月24日（水）　午後7時～午後8時30分